

## 愛知県環境審議会会議録

### 1 日時

平成30年11月12日（月）午前10時～午前11時

### 2 場所

愛知県議会議事堂5階 大会議室

### 3 出席者

委員20名、森岡副知事、説明のために出席した環境部職員24名

### 4 審議の概要

#### (1) 開会

会長及び委員30名中20名が出席しており、定足数を満たしていることを確認

#### (2) あいさつ

森岡副知事

#### (3) 議事

##### ア 会長の選出

夏原委員から青木清委員の推薦があった。

他に候補者はなく、全会一致で青木委員が会長に選出された。

##### イ 青木会長あいさつ

##### ウ 傍聴人について

青木会長が、傍聴人のないことを報告した。

##### エ 会議録の署名について

青木会長が、会議録の署名人として、浅川委員及び大石委員を指名した。

##### オ 会長代理の指名

青木会長が永瀬委員を会長代理に指名した。

##### カ 専門部会の構成と部会長

青木会長が各専門部会を構成する委員、専門委員及び特別委員並びに各専門部会の部会長を指名した。

## キ 諮問

諮問事項「生活環境の保全に関する水質環境基準の水域類型の見直し」について、事務局から説明を受けた。

この諮問事項については、青木会長が水質部会に付託した。

### 【質疑応答・要旨】

(鈴木委員)

河川の水質改善については家庭排水が重要である。下水道普及率の向上もあるが、浄化槽の点検や検査を徹底するようを要望したい。

(事務局)

浄化槽は維持管理が重要である。保守点検、清掃、法定検査を行うことで下水道並みの水質になる。適正な維持管理を徹底させていく必要がある。

## ク 報告

(ア)「愛知県地球温暖化対策推進条例」について、事務局から報告を受けた。

### 【質疑応答・要旨】

(谷川委員)

条例で規定した取組を点検する仕組みが重要である。国の環境基本計画の場合、数値目標や取組目標の達成状況をフォローアップする仕組みがあるが、県ではどうか。

(事務局)

毎年の温室効果ガス排出量や対策の進捗状況について、専門家によるフォローアップ会議を立ち上げ、評価、公表する予定である。また、市町村や事業者と連携し、県の対策の情報提供等を行っていく。

(大石委員)

条例で地球温暖化対策に関する啓発や学習の機会について規定しているが、周知や広報はどのように行うのか。

(事務局)

普及啓発として、「ストップ温暖化教室」やイベントでのブース出展を行っている。また、地球温暖化防止活動推進センターと一緒に学習の機会を提供している。地球

温暖化防止活動推進員とも連携しており、今後も地域や関係団体等とともに普及啓発を進めていく。

(山澤委員)

温室効果ガス排出量の算定について、電力の排出係数の扱いはどうか。石炭火力発電所の稼働により排出係数が増加する。条例により電気事業者へ何かしらの削減効果が期待できるか。

(事務局)

電力業界は0.5kg-CO<sub>2</sub>/kWh 近くある排出係数を、2030年に0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh にするとしている。0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh を算定した2030年の電源構成を前提として、あいち地球温暖化防止戦略2030において排出削減目標を設定している。電力業界に排出係数の削減を目指していただきながら、目標の達成に向けエネルギー使用量の削減に取り組んでいく。

(鈴木委員)

条例で、「県民は支障のない範囲で温室効果ガスの排出量が少ない生活様式に努める」とあるが、健康についても支障のないことが明記されるとより良かった。

(事務局)

支障のない範囲には、健康面も当然含めている。今後、啓発を行う際には、健康面に配慮した上で省エネ活動を行うよう伝えていく。

(イ)「岐阜県における豚コレラの発生及び本県の対応」について、事務局から報告を受けた。

#### 【質疑応答・要旨】

(夏原委員)

豚コレラの感染力、かかり方は、野生イノシシと豚で違うのか。感染症の予防策として、個体密度を下げるのが有効だと考えるが、狩猟禁止により個体数が増加し、感染イノシシが増加しないか。

(事務局)

豚コレラのかかり方は、イノシシと豚で同様と認識している。個体密度について、犬山市内では、犬山市、市猟友会、県の農林水産部と環境部で連携して、今まで以

上に有害捕獲として実施する。検査捕獲にあわせて個体数の密度を下げるよう対応している。

(渡邊 (美) 委員)

豚コレラの感染経路は、空気感染か、飛沫感染か、接触感染か。ウイルスの発生源、原因は何か。

(事務局)

豚コレラウイルスの伝播経路は、感染動物との直接接触の他、鼻汁や排泄物の飛沫・付着物との間接接触により起こる。発生源については、国でも検証を行っているが、明らかになっていない。

(4) 閉会

以上

愛知県環境審議会委員 浅川 晋

愛知県環境審議会委員 大石 弥 幸